

学校コード F113310103055

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

順天堂大学 健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科 (必要がある場合) ○○専攻

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人順天堂  
令和5年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名	浦安・日の出キャンパス事務室
職名・氏名	シヨニン タカハシ ケンタ 主任 高橋 健太
電話番号	047-354-331
(夜間)	同上
e-mail	health-ds@juntendo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 健康データサイエンス学部

＜健康データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人順天堂

## (2) 大学名

順天堂大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒279-0013

千葉県浦安市日の出6丁目8-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ ヒデオキ) 小川 秀興 (平成16年4月)		
学長	(アライ ハジメ) 新井 一 (平成28年4月)		
学部長	(アオキ シゲキ) 青木 茂樹 (令和5年4月)		
学科長		(ヒメノ リュウタロウ) 姫野 龍太郎 (令和5年4月)	運用上の必要性から学科長を任命した 令和5年4月1日 (5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科 学士 (健康データサイエンス学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。） 工学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	100人 0				
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	286 [ ]				
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	279 [ ]	1.01倍	-	1.01倍	-
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	243 [ ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	101 [ ]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.01				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は「小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	101	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 21 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	-	-	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	101	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 21 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	101人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{101} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間と社会の理解	現代社会と倫理	1~4前	2								1
	科学と哲学	1~4前	2								1
	英語圏文化と文学	1~4後	2			1					
	国際コミュニケーション論	1~4前	2								1
	グローバル人材論	1~4後	2								1
	人間関係論	1~4前	2								1
	心理と行動	1~4後	2								1
	世界の人権問題	1~4前	2								1
	法と社会	1~4前	2								1
	企業と会計	1~4前	2								1
	現代の企業経営	1~4後	2								1
	国際経済論	1~4後	2								1
	日本近現代史	1~4後	2								1
	社会学	1~4前	2								1
	社会保障社会福祉論	1~4後	2								1
	科学・技術・社会と環境問題	1~4後	2								1
	情報社会と人間	1~4後	2								1
	医療と現代社会	1~4後	1								1
	スポーツと現代社会	1~4後	1								1
小計(19科目)	-	-	36		1						17
自然科学の理解	生物学(基礎)	1前	2								1
	物理学(基礎)	1前	2			1					
	数学(基礎)	1前	2								1
	微分と積分(基礎)	1前	2				1				
	線形代数学(基礎)	1前	2						1		
	統計学(基礎)	1前	2					1			
	数理・情報リテラシー	1前	2							1	
小計(7科目)	-	-	4	10	0	1	2	0	1	0	2
外国語の理解	総合英語 I	1前	1			1					2
	総合英語 II	1前	1			1					2
	総合英語 III	1後	1			1					2
	総合英語 IV	1後	1			1					2
	英語表現 I	1前	1			1					2
	英語表現 II	1後	1			1					2
	Intensive English I	2前		1		1					2
	Intensive English II	2前		1		1					2
	Intensive English III	2後		1		1					2
	Intensive English IV	2後		1		1					2
	中国語 I	2前		2							1
	中国語 II	2後		2							1
	フランス語 I	2前		2							1
	フランス語 II	2後		2							1
小計(14科目)	-	-	6	12		1					4
スポーツと健康	スポーツ実技	1前	1								1
	スポーツ健康運動方法論	1後		1							1
小計(2科目)	-	-	1	1							1
キャリア支援	キャリアデザイン論	1前	2								2
	文章表現法/論文・レポートの書き方	1後		2							1
	ディベート	2前		2							1
	小計(4科目)	-	-	2	4						4

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間と社会の理解	現代社会と倫理(未開講)	1~4前	2								1
	科学と哲学	1~4前	2								1
	英語圏文化と文学	1~4後	2			1					
	国際コミュニケーション論	1~4前	2								1
	グローバル人材論	1~4後	2								1
	人間関係論	1~4前	2								1
	心理と行動	1~4後	2								1
	世界の人権問題	1~4前	2								1
	法と社会	1~4前	2								1
	企業と会計	1~4前	2								1
	現代の企業経営	1~4後	2								1
	国際経済論(未開講)	1~4後	2								1
	日本近現代史	1~4後	2								1
	社会学(未開講)	1~4前	2								1
	社会保障社会福祉論	1~4後	2								1
	科学・技術・社会と環境問題	1~4後	2								1
	情報社会と人間	1~4後	2								1
	医療と現代社会(未開講)	1~4後	1								1
	スポーツと現代社会(未開講)	1~4後	1								1
小計(19科目)	-	-	36		1						17
自然科学の理解	生物学(基礎)	1前	2								1
	物理学(基礎)	1前	2			1					
	数学(基礎)	1前	2								1
	微分と積分(基礎)	1前	2				1				
	線形代数学(基礎)	1前	2						1		
	統計学(基礎)	1前	2					1			
	数理・情報リテラシー	1前	2							1	
小計(7科目)	-	-	4	10	0	1	2	0	1	0	2
外国語の理解	総合英語 I	1前	1			1					2
	総合英語 II	1前	1			1					2
	総合英語 III	1後	1			1					2
	総合英語 IV	1後	1			1					2
	英語表現 I	1前	1			1					2
	英語表現 II	1後	1			1					2
	Intensive English I	2前		1		1					2
	Intensive English II	2前		1		1					2
	Intensive English III	2後		1		1					2
	Intensive English IV	2後		1		1					2
	中国語 I	2前		2							1
	中国語 II	2後		2							1
	フランス語 I	2前		2							1
	フランス語 II	2後		2							1
小計(14科目)	-	-	6	12		1					5
スポーツと健康	スポーツ実技	1前	1								5
	スポーツ健康運動方法論	1後		1							4
小計(2科目)	-	-	1	1							5
キャリア支援	キャリアデザイン論	1前	2								2
	文章表現法/論文・レポートの書き方	1前		2							1
	ディベート	2前		2							1
	小計(4科目)	-	-	2	4						4





	専門展開科目										
	科目名	単位数	1	2	3	4	5	6			
数理統計データサイエンス科目	多変量データ解析	2後	1					2			
	統計モデリング	2後	1					2			
	グラフ理論と最適化	3前	1		1						
	応用統計	3後		2	1						
	機械学習	3前	2			1					
	機械学習演習	3後	1			1		2			
	人工知能	3後	2			1					
	人工知能演習	4前	1			1		2			
	小計(8科目)		9	2		2	3		2	1	
	健康医療データサイエンス科目	健康医療統計学	3前		2			1			
		健康医療統計学演習	3後	1			1	1			
		医療データ解析	3前	1			1	1			
		保健衛生データ解析	3後	1			1	1			
保健医療シミュレーション		3前	2		1						
生体情報解析演習		3前	1		1					1	
医療情報システム論		3後	2							1	
臨床研究とデータサイエンス		4前	2			1					
医療と健康のデータサイエンス		4前	2			1					
医薬品情報とデータサイエンス		4後	2							1	
リハビリテーションとデータサイエンス		4後	2							1	
小計(11科目)		0	18		2	2	1			4	
スポーツデータサイエンス科目	スポーツの数理科学	3前		2		1					
	スポーツデータリテラシー	3前		2						1	
	スポーツとマーケティング	3後		2		1					
	スポーツとモデリング	3後		2		1					
	スポーツデータサイエンスⅠ	3前		2		1					
	スポーツデータサイエンスⅡ	3後		1		1					
	スポーツの流体力学	4前		2		1					
	バイオメカニクスと運動計測	4後		1		1			1		
	小計(8科目)		0	14		2	1		1		1
	総合研究	健康データサイエンス実証論	3後		2		1				
スポーツデータサイエンス実証論		3後		2		1					
インターンシップ		3通		2		3	1		1		
総合演習		3後		2		7	5				
卒業研究		4通		4		7	4				
小計(5科目)		6	6		7	4		1		3	
合計(125科目)		70	143	0	8	5	1	4		57	

**卒業要件及び履修方法**

必修70単位、選択57単位以上、合計127単位以上を修得すること。  
(履修科目の登録の上限：1年次46単位、2年次46単位、3年次40単位、4年次30単位)

＜履修方法＞

- 一般教養科目「人間と社会の理解」の選択科目から8単位以上を修得すること。
- 一般教養科目「自然科学の理解」は、必修4単位に加え、選択科目から4単位以上を修得すること。
- 一般教養科目「外国語の理解」は、必修6単位に加え、選択科目から4単位以上を修得すること。
- 一般教養科目「スポーツと健康」は、必修1単位を修得すること。
- 一般教養科目「キャリア支援」は、必修2単位を修得すること。
- 一般教養科目「スポーツと健康」と「キャリア支援」の選択科目から3単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」は、必修38単位を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」の「コンピュータ基礎科目」の選択科目から4単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」の「健康医療スポーツ科目」より、「衛生・公衆衛生学総論」「医療データマネジメント論」「医療経営概論」「健康と情報管理・活用」「生体情報解析基礎」「医療安全管理論」、以上6科目から4単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」の「健康医療スポーツ科目」より、「健康と栄養・運動」「スポーツと科学コミュニケーション」「ヘルスプロモーション」「生涯スポーツ論」「スポーツと心理」、以上5科目から4単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」は、必修13単位を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」の「コンピュータ科目」及び「数理統計データサイエンス科目」の選択科目から6単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」の「健康医療データサイエンス科目」を主科目として履修する場合には、「健康医療統計学」「健康医療統計学演習」「医療データ解析」「保健衛生データ解析」「保健医療シミュレーション」の7単位を修得し、そのほかの選択科目と「スポーツデータサイエンス科目」の中から合わせて11単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」の「スポーツデータサイエンス科目」を主科目として履修する場合には、「スポーツの数理科学」「スポーツデータリテラシー」「スポーツとマーケティング」「スポーツとモデリング」の8単位を修得し、そのほかの選択科目と「健康医療データサイエンス科目」の中から合わせて10単位以上を修得すること。
- 専門科目「総合研究」は、必修6単位に加え、選択科目から2単位以上を修得すること。

	専門展開科目												
	科目名	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
数理統計データサイエンス科目	多変量データ解析	2後	1							2			
	統計モデリング	2後	1							2			
	グラフ理論と最適化	3前	1				1					1	
	応用統計	3後		2			1						
	機械学習	3前	2					1					
	機械学習演習	3後	1				1					2	
	人工知能	3後	2				1						
	人工知能演習	4前	1				1					2	
	小計(8科目)		9	2			2	3		0	2		1
	健康医療データサイエンス科目	健康医療統計学	3前		2			1					
		健康医療統計学演習	3後	1			1	1					
		医療データ解析	3前	1			1	1					
		保健衛生データ解析	3後	1			1	1					
保健医療シミュレーション		3前	2			1							
生体情報解析演習		3前	1		1							1	
医療情報システム論		3後	2									1	
臨床研究とデータサイエンス		4前	2				1						
医療と健康のデータサイエンス		4前	2				1						
医薬品情報とデータサイエンス		4後	2									1	
リハビリテーションとデータサイエンス		4後	2									1	
小計(11科目)		0	18		2	2	1					4	
スポーツデータサイエンス科目	スポーツの数理科学	3前		2		1							
	スポーツデータリテラシー	3前		2								1	
	スポーツとマーケティング	3後		2		1							
	スポーツとモデリング	3後		2		1							
	スポーツデータサイエンスⅠ	3前		2		1							
	スポーツデータサイエンスⅡ	3後		1		1							
	スポーツの流体力学	4前		2		1							
	バイオメカニクスと運動計測	4後		1		1					1		
	小計(8科目)		0	14		2	1			1			1
	総合研究	健康データサイエンス実証論	3後		2		1						
スポーツデータサイエンス実証論		3後		2		1							
インターンシップ		3通		2		3	1		1				
総合演習		3後		2		7	5						
卒業研究		4通		4		7	4						
小計(5科目)		6	6		7	4		1				3	
合計(125科目)		70	143	0	8	5	1	4				62	

**卒業要件及び履修方法**

必修70単位、選択57単位以上、合計127単位以上を修得すること。  
(履修科目の登録の上限：1年次46単位、2年次46単位、3年次40単位、4年次30単位)

＜履修方法＞

- 一般教養科目「人間と社会の理解」の選択科目から8単位以上を修得すること。
- 一般教養科目「自然科学の理解」は、必修4単位に加え、選択科目から4単位以上を修得すること。
- 一般教養科目「外国語の理解」は、必修6単位に加え、選択科目から4単位以上を修得すること。
- 一般教養科目「スポーツと健康」は、必修1単位を修得すること。
- 一般教養科目「キャリア支援」は、必修2単位を修得すること。
- 一般教養科目「スポーツと健康」と「キャリア支援」の選択科目から3単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」は、必修38単位を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」の「コンピュータ基礎科目」の選択科目から4単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」の「健康医療スポーツ科目」より、「衛生・公衆衛生学総論」「医療データマネジメント論」「医療経営概論」「健康と情報管理・活用」「生体情報解析基礎」「医療安全管理論」、以上6科目から4単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門基礎科目」の「健康医療スポーツ科目」より、「健康と栄養・運動」「スポーツと科学コミュニケーション」「ヘルスプロモーション」「生涯スポーツ論」「スポーツと心理」、以上5科目から4単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」は、必修13単位を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」の「コンピュータ科目」及び「数理統計データサイエンス科目」の選択科目から6単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」の「健康医療データサイエンス科目」を主科目として履修する場合には、「健康医療統計学」「健康医療統計学演習」「医療データ解析」「保健衛生データ解析」「保健医療シミュレーション」の7単位を修得し、そのほかの選択科目と「スポーツデータサイエンス科目」の中から合わせて11単位以上を修得すること。
- 専門科目「専門展開科目」の「スポーツデータサイエンス科目」を主科目として履修する場合には、「スポーツの数理科学」「スポーツデータリテラシー」「スポーツとマーケティング」「スポーツとモデリング」の8単位を修得し、そのほかの選択科目と「健康医療データサイエンス科目」の中から合わせて10単位以上を修得すること。
- 専門科目「総合研究」は、必修6単位に加え、選択科目から2単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和5年度】**

- ・ 非常勤講師の就任により、「スポーツ実技」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
- ・ 非常勤講師の就任により、「スポーツ健康運動方法論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更
- ・ 学修効果をより高めるため、「文書表現法/論文・レポートの書き方」の配置年次を「1後」から「1前」に変更

- (注) ・ 2(1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
45 科目	80 科目	科目	125 科目	45 科目 [ ]	80 科目 [ ]	科目 [ ]	125 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	現代社会と倫理	2	1～4前	一般	選択	1～4年次配当科目であり1学年しかないため、次年度以降に開講する。
2	国際経済論	2	1～4後	一般	選択	1～4年次配当科目であり1学年しかないため、次年度以降に開講する。
3	社会学	2	1～4前	一般	選択	1～4年次配当科目であり1学年しかないため、次年度以降に開講する。
4	医療と現代社会	1	1～4後	一般	選択	1～4年次配当科目であり1学年しかないため、次年度以降に開講する。
5	スポーツと現代社会	1	1～4後	一般	選択	1～4年次配当科目であり1学年しかないため、次年度以降に開講する。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度の未開講科目についてはすべて1年～4年次配当の選択必修科目であり、カリキュラムの構成上、同じ配当年次の科目が19科目ある。今年度は1学年しかないことからすべての科目を開講すると履修者数が少なくなることが想定されるため、計画的・段階的に開講することとし、今年度の未開講科目については令和6年度以降に開講することを計画している。学生に対しては年度初頭における「履修ガイダンス」や「掲示板」等にて周知するとともに、個別の履修相談にて対応しており、学生の履修計画及び履修において問題はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{125} = \boxed{4}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	浦安・日の出キャンパス整備等に伴う変更(5)		
	校舎敷地	173,394 m <sup>2</sup> <del>166,730 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	173,394 m <sup>2</sup> <del>166,730 m<sup>2</sup></del>			
	運動場用地	142,366 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	142,366 m <sup>2</sup>			
	小 計	315,759 m <sup>2</sup> <del>309,095 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	315,759 m <sup>2</sup> <del>309,095 m<sup>2</sup></del>			
	そ の 他	141,497 m <sup>2</sup> <del>147,111 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	141,497 m <sup>2</sup> <del>147,111 m<sup>2</sup></del>			
	合 計	457,256 m <sup>2</sup> <del>456,206 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	457,256 m <sup>2</sup> <del>456,206 m<sup>2</sup></del>			
(2) 校 舎	専 用	171,003 m <sup>2</sup> <del>150,661 m<sup>2</sup></del>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	171,003 m <sup>2</sup> <del>150,661 m<sup>2</sup></del>	浦安・日の出キャンパス整備等に伴う変更(5)		
	( 138,941m <sup>2</sup> )	( 0m <sup>2</sup> )	( 0m <sup>2</sup> )	( 138,941m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	16室	36室	0室	1室 (補助職員 人)	3室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	健康データサイエンス学部			14 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書(5) 299,392冊297,111冊 〔105,029冊〕-〔104,969冊〕- 学術雑誌 5,385種5,279種 〔2,007種〕-〔2,009種〕- 電子ジャーナル 44,614誌43,549誌 〔42,961誌〕-〔41,945誌〕- 視聴覚資料 3,829点2,808点
	健康データサイエンス学部	860 [360] ( 235 [75] )	29 [9] ( 20 [0] )	9 [9] ( 0 [0] )	44 (24)	167 (167)	0 0	
	計	860 [360] ( 235 [75] )	29 [9] ( 20 [0] )	9 [9] ( 0 [0] )	44 (24)	167 (167)	0 0	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	3,818 m <sup>2</sup>		893		323,967			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					図書館、体育館及びスポーツ施設は大学全体を記載
	17,386m <sup>2</sup>		柔道場 1室		剣道場 1室			
			テニスコート 14面		サッカー場 1面			
			ラグビー場 1面		陸上競技場 1面			
			室内プール 1面		野球場 1面			
			ゴルフ練習場 1面		投てき場 1面			
			フットサルコート 2面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	4,000千円	6,000千円	5,000千円	
	共 同 研 究 費 等	2,000千円	3,000千円	設備購入費	175,138千円	486,694千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
	1,600千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、事業収入、補助金収入等の一部を充当する						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	順天堂大学					平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
医学部 医学科	6	140	-	829	学士(医学)	1.00	-	1.00	-	令和5	昭和27	東京都文京区本郷2丁目1番1号	令和2年度から入学定員変更(140→135) 令和3年度から入学定員変更(135→136) 令和4年度から入学定員変更(136→138) 令和5年度から入学定員変更(138→140)
スポーツ健康科学部	4	600	-	2210	-	1.02	-	1.01	-	令和3	平成5	千葉県印西市平賀学園1丁目1番地	
スポーツ健康科学科	4	600	-	1800	学士(スポーツ健康科学)	1.02	-	1.02	-	令和3	令和3	同上	令和3年度開設
スポーツ科学科	4	-	-	-	学士(スポーツ科学)	-	-	-	-	-	平成5	同上	令和3年度入学生より学生募集停止
スポーツマネジメント学科	4	-	-	-	学士(スポーツマネジメント)	-	-	-	-	-	平成5	同上	令和3年度入学生より学生募集停止
健康学科	4	-	-	-	学士(健康学)	-	-	-	-	-	平成5	同上	令和3年度入学生より学生募集停止
医療看護学部 看護学科	4	220	-	840	学士(看護学)	0.99	-	0.99	-	令和4	平成16	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	令和4年度から入学定員変更(200→220)
保健看護学部 看護学科	4	130	-	500	学士(看護学)	1.03	-	1.01	-	令和4	平成22	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	令和4年度から入学定員変更(120→130)
国際教養学部 国際教養学科	4	240	-	960	学士(国際教養学)	0.98	-	0.96	-	-	平成27	東京都文京区本郷2丁目1番1号	
保健医療学部	4	240	-	960	-	1.00	-	1.00	-	-	令和元	東京都文京区本郷2丁目1番1号	
理学療法学科	4	120	-	480	学士(理学療法)	1.00	-	1.00	-	-	令和元	同上	
診療放射線学科	4	120	-	480	学士(放射線技術)	1.00	-	1.00	-	-	令和元	同上	
医療科学部	4	180	-	360	-	1.01	-	1.01	-	令和4	令和4	千葉県浦安市日の出6丁目8-1	令和4年度開設
臨床検査学科	4	110	-	220	学士(臨床検査)	1.01	-	1.01	-	令和4	令和4	同上	令和4年度開設
臨床工学科	4	70	-	140	学士(臨床工学)	1.00	-	1.00	-	令和4	令和4	同上	令和4年度開設
健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	4	100	-	100	学士(健康データサイエンス)	1.01	-	1.01	-	令和5	令和5	同上	令和5年度開設
大学全体		1850	-	6759	-	-	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 茂樹 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		人体の機能と構造 医療概論 医療情報学 臨床医学総論Ⅱ 生体情報解析演習 健康データサイエンス実践論 インターンシップ 総合演習 卒業研究
専	教授	岩崎 学 (70) <令和5年4月> 理学博士
		応用統計 総合演習 卒業研究
専	教授	山本 史郎 (68) <令和5年4月> 文学修士
		英語圏文化と文学 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ Intensive EnglishⅠ Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅢ Intensive EnglishⅣ
専	教授	姫野 龍太郎 (68) <令和5年4月> 工学博士
		物理学(基礎) 情報可視化概論 データサイエンス概論 データサイエンス基礎演習 情報可視化演習 スポーツの流体力学 バイオメカニクスと運動計測 総合演習 卒業研究
専	教授	佐藤 三久 (64) <令和5年4月> 理学博士
		コンピュータ概論 情報通信の仕組み コンピュータアーキテクチャ コンピュータネットワーク 組み込みシステム 計算科学の応用 プログラミング演習Ⅳ プログラミング言語論 総合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 茂樹 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		人体の機能と構造 医療概論 医療情報学 臨床医学総論Ⅱ 生体情報解析演習 健康データサイエンス実践論 インターンシップ 総合演習 卒業研究
専	教授	岩崎 学 (70) <令和5年4月> 理学博士
		応用統計 総合演習 卒業研究
専	教授	山本 史郎 (68) <令和5年4月> 文学修士
		英語圏文化と文学 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ Intensive EnglishⅠ Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅢ Intensive EnglishⅣ
専	教授	姫野 龍太郎 (68) <令和5年4月> 工学博士
		物理学(基礎) 情報可視化概論 データサイエンス概論 データサイエンス基礎演習 情報可視化演習 スポーツの流体力学 バイオメカニクスと運動計測 総合演習 卒業研究
専	教授	佐藤 三久 (64) <令和5年4月> 理学博士
		コンピュータ概論 情報通信の仕組み コンピュータアーキテクチャ コンピュータネットワーク 組み込みシステム 計算科学の応用 プログラミング演習Ⅳ プログラミング言語論 総合演習 卒業研究



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	廣津 信義 (61) 〈令和7年4月〉 Doctor of Philosophy in Management Science
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ スポーツの数理科学 スポーツとモデリング スポーツデータサイエンスⅡ スポーツデータサイエンス実践 論 インターンシップ 総合演習 卒業研究
専	教授	加藤 雅彦 (54) 〈令和6年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティⅢ ネットワークセキュリティ インターンシップ 総合演習 卒業研究
専	教授	水野 信也 (47) 〈令和5年4月〉 博士(工学)
		コンピュータ基礎演習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ オペレーティングシステム データ構造とアルゴリズム データベース グラフ理論と最適化 保健医療シミュレーション 総合演習 卒業研究
専	准教授	満塩 尚史 (58) 〈令和6年4月〉 博士(理学)
		情報セキュリティⅠ 情報倫理 情報セキュリティⅡ インターンシップ 総合演習
専	准教授	橋本 泰一 (48) 〈令和5年4月〉 博士(工学)
		機械学習 機械学習演習 人工知能 人工知能演習 総合演習 卒業研究
専	准教授	小泉 和之 (41) 〈令和5年4月〉 博士(理学)
		微分と積分(基礎) 微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ データサイエンス基礎演習 多変量データ解析 スポーツとマーケティング スポーツデータサイエンスⅠ 総合演習 卒業研究
専	准教授	坂巻 顕太郎 (38) 〈令和5年4月〉 博士(保健学)
		統計学(基礎) 統計モデリング 健康医療統計学 健康医療統計学演習 保健衛生データ解析 医療と健康のデータサイエンス 総合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	廣津 信義 (59) 〈令和7年4月〉 Doctor of Philosophy in Management Science
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ スポーツの数理科学 スポーツとモデリング スポーツデータサイエンスⅡ スポーツデータサイエンス実践 論 インターンシップ 総合演習 卒業研究
専	教授	加藤 雅彦 (53) 〈令和6年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティⅢ ネットワークセキュリティ インターンシップ 総合演習 卒業研究
専	教授	水野 信也 (47) 〈令和5年4月〉 博士(工学)
		コンピュータ基礎演習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ オペレーティングシステム データ構造とアルゴリズム データベース グラフ理論と最適化 保健医療シミュレーション 総合演習 卒業研究
専	准教授	満塩 尚史 (57) 〈令和6年4月〉 博士(理学)
		情報セキュリティⅠ 情報倫理 情報セキュリティⅡ インターンシップ 総合演習
専	准教授	橋本 泰一 (48) 〈令和7年4月〉 博士(工学)
		機械学習 機械学習演習 人工知能 人工知能演習 総合演習 卒業研究
専	准教授	小泉 和之 (41) 〈令和5年4月〉 博士(理学)
		微分と積分(基礎) 微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ データサイエンス基礎演習 多変量データ解析 スポーツとマーケティング スポーツデータサイエンスⅠ 総合演習 卒業研究
専	准教授	坂巻 顕太郎 (38) 〈令和5年4月〉 博士(保健学)
		統計学(基礎) 統計モデリング 健康医療統計学 健康医療統計学演習 保健衛生データ解析 医療と健康のデータサイエンス 総合演習 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大津 洋 (51) <令和5年4月> 修士(数理学)
		データサイエンス基礎演習 多変量データ解析 統計モデリング 医療データ解析 臨床研究とデータサイエンス 総合演習 卒業研究
専	講師	徳田 慶太 (39) <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		コンピュータ基礎演習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅲ 健康医療統計学演習 医療データ解析 保健衛生データ解析
専	助教	CHRISTINA ANDICA (38) <令和5年4月> 博士(医学)
		人体の機能と構造 医療概論 臨床医学総論Ⅱ
専	助教	孫 哲 (35) <令和5年4月> 博士(理学)
		コンピュータ基礎演習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ プログラミング演習Ⅲ プログラミング演習Ⅳ 情報可視化演習 機械学習演習 人工知能演習 バイオメカニクスと運動計測
専	助教	田辺 瑠偉 (35) <令和6年4月> 博士(情報学)
		情報セキュリティⅢ ネットワークセキュリティ インターンシップ
専	助教	中村 知繁 (32) <令和5年4月> 博士(工学)
		線形代数学(基礎) 数値・情報リテラシー プログラミング演習Ⅱ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 機械学習演習 人工知能演習
兼任	准教授	長沼 淳 (56) <令和5年4月> 博士(文学)
		現代社会と倫理
兼任	准教授	四方 昌利 (61) <令和5年10月> 修士(経営学)
		グローバル人材論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大津 洋 (51) <令和5年4月> 修士(数理学)
		データサイエンス基礎演習 多変量データ解析 統計モデリング 医療データ解析 臨床研究とデータサイエンス 総合演習 卒業研究
専	講師	徳田 慶太 (39) <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		コンピュータ基礎演習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅲ 健康医療統計学演習 医療データ解析 保健衛生データ解析
専	助教	CHRISTINA ANDICA (38) <令和5年4月> 博士(医学)
		人体の機能と構造 医療概論 臨床医学総論Ⅱ
専	助教	孫 哲 (35) <令和5年4月> 博士(理学)
		コンピュータ基礎演習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ プログラミング演習Ⅲ プログラミング演習Ⅳ 情報可視化演習 機械学習演習 人工知能演習 バイオメカニクスと運動計測
専	助教	田辺 瑠偉 (34) <令和6年4月> 博士(情報学)
		情報セキュリティⅢ ネットワークセキュリティ インターンシップ
専	助教	中村 知繁 (32) <令和5年4月> 博士(工学)
		線形代数学(基礎) 数値・情報リテラシー プログラミング演習Ⅱ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 機械学習演習 人工知能演習
兼任	准教授	長沼 淳 (56) <令和5年4月> 博士(文学)
		現代社会と倫理
兼任	准教授	四方 昌利 (61) <令和5年10月> 修士(経営学)
		グローバル人材論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平林 正樹 (62) 〈令和5年10月〉 修士(経営学)
		現代の企業経営 キャリアデザイン論
兼任	講師	佐々木 優 (40) 〈令和5年10月〉 博士(商学)
		国際経済論
兼任	准教授	渡 正 (43) 〈令和5年4月〉 博士(学術)
		社会学
兼任	教授	小林 弘幸 (63) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		医療と現代社会
兼任	教授	鈴木 大地 (56) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		スポーツと現代社会
兼任	准教授	浅井 孝夫 (43) 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		生物学(基礎)
兼任	教授	大橋 真也 (61) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		数学(基礎) 確率と統計Ⅰ 確率と統計Ⅱ
兼任	助教	門屋 悠香 (44) 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		スポーツ実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	准教授	道谷(沖) 里英 (51) 〈令和5年10月〉 博士(カウンセリング科学)
		キャリアデザイン論
兼任	准教授	柳田 光昭 (60) 〈令和5年10月〉 博士(農学)
		人体の機能と構造
兼任	教授	岩渕 和久 (66) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		人体の機能と構造

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	平林 正樹 (61) 〈令和5年10月〉 修士(経営学)
		現代の企業経営 キャリアデザイン論
兼任	講師	佐々木 優 (40) 〈令和5年10月〉 博士(商学)
		国際経済論
兼任	准教授	渡 正 (43) 〈令和5年4月〉 博士(学術)
		社会学
兼任	教授	小林 弘幸 (62) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		医療と現代社会
兼任	教授	鈴木 大地 (56) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		スポーツと現代社会
兼任	准教授	浅井 孝夫 (43) 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		生物学(基礎)
兼任	教授	大橋 真也 (61) 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		数学(基礎) 確率と統計Ⅰ 確率と統計Ⅱ
兼任	助教	門屋 悠香 (43) 〈令和5年4月〉 博士(医学)
		スポーツ実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	准教授	道谷(沖) 里英 (51) 〈令和5年10月〉 博士(カウンセリング科学)
		キャリアデザイン論
兼任	准教授	柳田 光昭 (59) 〈令和5年10月〉 博士(農学)
		人体の機能と構造
兼任	教授	岩渕 和久 (66) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		人体の機能と構造

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	下地 啓五 (50) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		人体の機能と構造 臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 生体情報解析基礎 生体情報解析演習
兼任	准教授	西澤 光生 (52) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		医療概論 臨床医学総論Ⅰ 生体情報解析基礎
兼任	講師	杉村 雅文 (52) 〈令和6年4月〉 修士(農学)
		医療情報学 医療情報システム論
兼任	助教	松川 岳久 (48) 〈令和6年4月〉 博士(医学)
		衛生・公衆衛生学総論
兼任	准教授	塚尾 浩 (51) 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		医療安全管理論
兼任	助教	山中 航 (41) 〈令和6年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ
兼任	講師	大田 穂 (37) 〈令和6年4月〉 博士(体育科学)
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ
兼任	准教授	中西(南) 唯公 (43) 〈令和6年4月〉 博士(医学)
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ
兼任	講師	高橋 徳江 (66) 〈令和6年4月〉 学士(栄養学)
		健康と栄養・運動
兼任	准教授	山田 泰行 (43) 〈令和6年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツと科学コミュニケーション
兼任	准教授	鈴木 美奈子 (46) 〈令和6年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		ヘルスプロモーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	下地 啓五 (49) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		人体の機能と構造 臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 生体情報解析基礎 生体情報解析演習
兼任	准教授	西澤 光生 (52) 〈令和5年10月〉 博士(医学)
		医療概論 臨床医学総論Ⅰ 生体情報解析基礎
兼任	講師	杉村 雅文 (52) 〈令和6年4月〉 修士(農学)
		医療情報学 医療情報システム論
兼任	助教	松川 岳久 (48) 〈令和6年4月〉 博士(医学)
		衛生・公衆衛生学総論
兼任	准教授	塚尾 浩 (49) 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		医療安全管理論
兼任	助教	山中 航 (40) 〈令和6年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ
兼任	講師	大田 穂 (36) 〈令和6年4月〉 博士(体育科学)
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ
兼任	准教授	中西(南) 唯公 (43) 〈令和6年4月〉 博士(医学)
		スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ
兼任	講師	高橋 徳江 (65) 〈令和6年4月〉 学士(栄養学)
		健康と栄養・運動
兼任	准教授	山田 泰行 (42) 〈令和6年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツと科学コミュニケーション
兼任	准教授	鈴木 美奈子 (44) 〈令和6年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		ヘルスプロモーション

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	川田 裕次郎 (41) 〈令和6年10月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツと心理
兼任	教授	亀井 淳三 (70) 〈令和8年10月〉 薬学博士
		医薬品情報とデータサイエンス
兼任	教授	高橋 哲也 (58) 〈令和8年10月〉 博士(保健学)
		リハビリテーションとデータサイエンス
兼任	准教授	鈴木 宏哉 (48) 〈令和7年4月〉 博士(体育科学)
		スポーツデータリテラシー
兼任	准教授	室伏 由佳 (48) 〈令和7年10月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツデータサイエンス実践論
兼任	准教授	武田 剛 (44) 〈令和7年10月〉 博士(体育科学)
		スポーツデータサイエンス実践論
兼任	助教	竹澤 稔裕 (41) 〈令和7年10月〉 博士(医科学)
		スポーツデータサイエンス実践論
兼任	講師	柿沼 美穂 (61) 〈令和5年4月〉 修士(芸術学)
		科学と哲学
兼任	講師	佐藤 研一 (52) 〈令和5年4月〉 MBA
		国際コミュニケーション論
兼任	講師	山本 このみ (35) 〈令和5年4月〉 修士(臨床心理学)
		人間関係論 心理と行動
兼任	講師	覚正 豊和 (73) 〈令和5年4月〉 法学博士
		世界の人権問題
兼任	講師	後藤 新 (46) 〈令和5年4月〉 修士(法学)
		法と社会 日本近現代史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	川田 裕次郎 (39) 〈令和6年10月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツと心理
兼任	教授	亀井 淳三 (67) 〈令和8年10月〉 薬学博士
		医薬品情報とデータサイエンス
兼任	教授	高橋 哲也 (55) 〈令和8年10月〉 博士(保健学)
		リハビリテーションとデータサイエンス
兼任	准教授	鈴木 宏哉 (46) 〈令和7年4月〉 博士(体育科学)
		スポーツデータリテラシー
兼任	准教授	室伏 由佳 (46) 〈令和7年10月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツデータサイエンス実践論
兼任	准教授	武田 剛 (42) 〈令和7年10月〉 博士(体育科学)
		スポーツデータサイエンス実践論
兼任	助教	竹澤 稔裕 (39) 〈令和7年10月〉 博士(医科学)
		スポーツデータサイエンス実践論
兼任	講師	柿沼 美穂 (61) 〈令和5年4月〉 修士(芸術学)
		科学と哲学
兼任	講師	佐藤 研一 (52) 〈令和5年4月〉 MBA
		国際コミュニケーション論
兼任	講師	山本 このみ (35) 〈令和5年4月〉 修士(臨床心理学)
		人間関係論 心理と行動
兼任	講師	覚正 豊和 (73) 〈令和5年4月〉 法学博士
		世界の人権問題
兼任	講師	後藤 新 (46) 〈令和5年4月〉 修士(法学)
		法と社会 日本近現代史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 敏行 (74) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		企業と会計
兼任	講師	和田 勝 (78) ＜令和5年10月＞ 法学士
		社会保障社会福祉論
兼任	講師	齊藤 智樹 (42) ＜令和5年10月＞ 博士(学術)
		科学・技術・社会と環境問題
兼任	講師	阿曾沼 元博 (71) ＜令和5年10月＞ 商学士
		情報社会と人間
兼任	講師	豊島(堀井)実和 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ Intensive EnglishⅠ Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅢ Intensive EnglishⅣ
兼任	講師	山形 明子 (38) ＜令和5年4月＞ Master of Arts(英国)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ Intensive EnglishⅠ Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅢ Intensive EnglishⅣ
兼任	講師	樂 殿武 (60) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	森 真太郎 (42) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	佐々木 文彦 (64) ＜令和5年10月＞ 文学修士
		文章表現法/論文・レポートの書き方
兼任	講師	福田 健一 (66) ＜令和6年4月＞ 修士(行政学)
		ディベート

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 敏行 (74) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		企業と会計
兼任	講師	和田 勝 (77) ＜令和5年10月＞ 法学士
		社会保障社会福祉論
兼任	講師	齊藤 智樹 (41) ＜令和5年10月＞ 博士(学術)
		科学・技術・社会と環境問題
兼任	講師	阿曾沼 元博 (71) ＜令和5年10月＞ 商学士
		情報社会と人間
兼任	講師	豊島(堀井)実和 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ Intensive EnglishⅠ Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅢ Intensive EnglishⅣ
兼任	講師	山形 明子 (38) ＜令和5年4月＞ Master of Arts(英国)
		<del>総合英語Ⅰ</del> <del>総合英語Ⅱ</del> <del>総合英語Ⅲ</del> <del>総合英語Ⅳ</del> 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ Intensive EnglishⅠ Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅢ Intensive EnglishⅣ
兼任	講師	樂 殿武 (59) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	森 真太郎 (41) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	福田 健一 (65) ＜令和6年4月＞ 修士(行政学)
		ディベート

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	櫻井 将人 (47) ＜令和5年10月＞ 博士(工学)
		オペレーティングシステム データ構造とアルゴリズム
兼任	講師	山地 俊之 (50) ＜令和5年10月＞ 博士(薬学)
		人体の機能と構造
兼任	講師	樋野 興夫 (69) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		医療概論
兼任	講師	田村 潤 (62) ＜令和6年4月＞ 修士(医療福祉経営学)
		医療データマネジメント論
兼任	講師	福永 肇 (69) ＜令和6年4月＞ 修士(経済学)
		医療経営概論
兼任	講師	岡田(肝付) 佐知子 (50) ＜令和6年10月＞ 博士(情報学)
		健康と情報管理・活用
兼任	講師	大西 朋 (55) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		健康と栄養・運動
兼任	講師	島内 憲夫 (74) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		ヘルスプロモーション
兼任	講師	野川 春夫 (75) ＜令和6年10月＞ Ph. D. (Education) (米国)
		生涯スポーツ論
兼任	講師	大竹 恒平 (35) ＜令和6年10月＞ 博士(工学)
		データベース
兼任	講師	生田目 崇 (54) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		グラフ理論と最適化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	櫻井 将人 (47) ＜令和5年10月＞ 博士(工学)
		オペレーティングシステム データ構造とアルゴリズム
兼任	講師	山地 俊之 (50) ＜令和5年10月＞ 博士(薬学)
		人体の機能と構造
兼任	講師	樋野 興夫 (69) ＜令和5年10月＞ 医学博士
		医療概論
兼任	講師	田村 潤 (62) ＜令和6年4月＞ 修士(医療福祉経営学)
		医療データマネジメント論
兼任	講師	福永 肇 (68) ＜令和6年4月＞ 修士(経済学)
		医療経営概論
兼任	講師	岡田(肝付) 佐知子 (49) ＜令和6年10月＞ 博士(情報学)
		健康と情報管理・活用
兼任	講師	大西 朋 (54) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		健康と栄養・運動
兼任	講師	島内 憲夫 (73) ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		ヘルスプロモーション
兼任	講師	野川 春夫 (74) ＜令和6年10月＞ Ph. D. (Education) (米国)
		生涯スポーツ論
兼任	講師	大竹 恒平 (34) ＜令和6年10月＞ 博士(工学)
		データベース
兼任	講師	生田目 崇 (52) ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		グラフ理論と最適化
兼任	講師	荻原 雅佳子 (65) ＜令和5年4月＞ 国際コミュニケーション博士
		文章表現法/論文・レポートの 書き方

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	菊田 怜央 (30) <令和5年4月> 修士(学術) 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
			兼任	講師	稲川 尚汰 (25) <令和5年4月> 修士(スポーツ健康科学) スポーツ実技
			兼任	講師	村上 光輝 (48) <令和5年4月> 博士(スポーツ健康科学) スポーツ実技 スポーツ健康運動方法論
			兼任	講師	勝又 健太 (28) <令和5年4月> 博士(スポーツ健康科学) スポーツ実技 スポーツ健康運動方法論
			兼任	講師	横尾 栞 (26) <令和5年4月> 学士(体育) スポーツ実技 スポーツ健康運動方法論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・令和5年4月就任予定の橋本泰一准教授が現所属業務の調整のため令和7年4月就任予定に変更（担当授業科目は全て令和7年4月以降に開講のため授業に影響はない）
- ・令和5年3月末に佐々木文彦非常勤講師が就任辞退、令和5年4月に後任として荻原 稚佳子非常勤講師が就任
- ・令和5年3月末に山形明子非常勤講師が総合英語Ⅰ～Ⅳの担当を辞退したため、令和5年4月に菊田怜央非常勤講師が就任
- ・令和5年4月に福川尚汰非常勤講師が就任（教育内容充実のため、門屋非常勤講師（授業科目「スポーツと実技」）と授業実施）
- ・令和5年4月に村上光輝非常勤講師が就任（教育内容充実のため、門屋非常勤講師（授業科目「スポーツと実技」「スポーツ健康運動方法論」）と授業実施）
- ・令和5年4月に勝又健太非常勤講師が就任（教育内容充実のため、門屋非常勤講師（授業科目「スポーツと実技」「スポーツ健康運動方法論」）と授業実施）
- ・令和5年4月に槇尾菜非常勤講師が就任（教育内容充実のため、門屋非常勤講師（授業科目「スポーツと実技」「スポーツ健康運動方法論」）と授業実施）

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
8	5	1	4	18	0	6	3	1	3	13	0
(6)	(4)	(1)	(3)	(14)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	5	1	4	18	0	8	5	1	4	18	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	3	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{13} = \boxed{23.07} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{18} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□ 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当無し								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和4年)	例えば「総合演習」「卒業研究」について、シラバスでは全専任教員が担当することになっているが、個々の専任教員をみると健康・医療の専門ではあるが、コンピュータサイエンスの専門ではないなど本学部が対象とする健康データサイエンス分野の一部をそれぞれ専門とする教員で構成されているものと見受けられる。「総合演習」「卒業研究」といった複数の領域にわたる内容を扱う授業科目については、設定されたテーマに対応するためには専門の異なる複数の教員で対応する必要があることが想定されるため、専任教員単独ではなく兼任教員を含めた複数の教員で対応するなど、各領域を専門とする教員が適切に連携した上で実施することが望ましい。またシラバスでこれらの授業科目について記載する内容については、受講する学生が理解しやすいように、想定される演習・研究のテーマとそれに対応する教員名を具体的に示すことが望ましい。	「総合演習」と「卒業研究」は、本学部学生にとって本学部での学びの集大成となる科目である。「総合演習」は3年次後期開講科目であるが、3年次前期に配属研究室を予め決め、準備の上履修する予定である。そのためシラバス（授業計画）については、研究室毎に作成する予定で、テーマはもちろんのこと演習・実験内容においてもより詳細に記載し、学生の理解を深めたいと履修登録に臨ませる計画である。	履行中	次のとおり、履修に向け段階的に指導する計画である。  (令和5年度) ・教務委員会にて「総合演習」「卒業研究」の実施計画を策定 計画策定の際のポイントとして、 ①「各研究室連携体制の確認」、 ②「兼任教員等の協力体制の確保」、 ③「実験助手の確保、以上の点に留意する。  (令和6年度) ・研究室毎のシラバス完成 ・後期に希望研究室（「総合演習」）基礎調査を実施 (教員との面談を含む)  (令和7年度) ・前期に配属研究室を発表 ・後期から「総合演習」履修 ・後期に「卒業研究」テーマの提出
認可時 (令和4年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	若手教員（准教授、講師、助教）の教育研究力向上支援、並びに将来構想としての大学院（修士課程）の開設計画と連係・同時進行させながら、将来の教員組織について編成を調整・整理する計画で協議を開始している。	履行中	開設3年目の令和7年度には、策定した教員組織計画に基づき、将来の教員組織について具体的に整備を開始する計画である。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 健康データサイエンス学部FD推進委員会の規程準備に向け準備を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 令和5年5月16日(火)に第1回「健康データサイエンス学部FD推進委員会」を開催予定</p> <p>c 委員会の審議事項等 令和5年5月16日(火)の第1回「健康データサイエンス学部FD推進委員会」の議案(予定) ・健康データサイエンス学部FD委員会運営規則(案)について ・2023年度健康データサイエンス学部FD実施計画(案)について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 FD推進委員会の設置前ではあるが、開設前は開設準備室がその役割を果たし、4月にFD・SD研修を組織的に実施した。  2023年度第1回(4月1日)FD・SD研修「アクティブ・ラーニングの開発・研究:ファシリテーション」 2023年度第2回(4月3日)FD・SD研修「学校法人順天堂の歴史」</p> <p>b 実施方法 原則対面方式(教職員全員参加)</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 全教職員が出席。グループワーク等の演習が伴う内容以外は全て録画しており、オンデマンド方式で再度視聴ができる。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 教授会を含む各種委員会で検証を行い、授業改善等に活かしている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 授業評価アンケートは授業ごと(毎時間)に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員には授業内容・方法とシラバスの整合性を確認するため授業評価アンケート結果を毎回伝えている。 また、結果をもとに授業改善に関する具体的な方策を記したリフレクションペーパーを提出させる予定である。 これに基づきシラバスの内容を見直し、授業改善を図っている。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- ・令和5年4月、設置の趣旨・目的のとおり健康データサイエンス学部健康データサイエンス学科を開設した。
  - ・1年生について、アドミッションポリシーに基づく適切な入学試験を実施し、101名の入学生を受け入れ順調にカリキュラム運営を行っている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・第16次自己点検・評価報告書（令和3年度）令和4年10月公表
  - ・第17次自己点検・評価報告書（令和4年度）令和5年10月公表予定
- b 公表方法
- ・自己点検・評価報告書を刊行し、全学に配付するとともに、大学ホームページ上に掲載公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成28年10月、大学基準協会による大学評価を受審し、同協会の大学基準に適合していると認定されたが、平成30年12月に文部科学省が公表した「医学部医学科の入学選抜における公正確保等に係る緊急調査最終まとめ」を受けて、令和2年2月、同協会が本学の平成28年度の適合判定を取り消し、不適合へと判定を変更した。
  - 令和2年7～10月に同協会の追評価を受審し、令和3年3月に基準適合の認定を受けている。
  - 当該認定の期間が令和3年4月から令和6年3月であることから、令和5年度に認証評価受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。